

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	7	学 校 名	伊豆総合高校土肥分校	記 載 者	所 康俊
------	---	-------	------------	-------	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意 見
ア	教育相談機能の発展的継続により、生徒のこころの安定とからだの成長を図る	年間2回の校内研修の実施。	A	A	引き続き、行うことで良い形になればと思います。
		月間1回の教育相談連絡会実施。生徒アンケート「困ったときに相談できる人がいる」の“当てはまる”が80%以上。	B	B	先生方の手厚い支援の賜物だと感じます。
		生徒アンケートで「学校や社会のルールやマナーを守って行動している」が95%以上、保護者アンケートで「土肥分校生は、挨拶や言葉遣い等がしっかりと出来ている」と地域アンケートで「本校生徒の服装・頭髪等は高校生らしいと思います。」が75%以上。	B	B	学校の外から見る限り、特に問題がないと考えます。
		新体力テスト8種目中4種目で、前年度（1年生は春）の記録を更新した生徒が60%以上。	A	A	活発で良いことだと思います。体育の授業以外でも生徒の体力が向上することや、体を動かす機会を増やすアイデアも考えてほしい。
		1日3回の食事を摂り生活リズムを作る。朝食摂取率80%以上。定期的な生活実態調査で、実態を把握する。健康講座を通して健康への関心を高め、健康な生活を実践できるよう継続的に指導する。毎日、6時間以上寝ている生徒80%以上。毎日、規則正しく生活している生徒70%以上。	B	B	下宿先により、食事の内容にばらつきがあることの是正も検討してほしい。
イ	生徒一人ひとりに対応した学習指導、進路指導体制の確立を図る。	生徒アンケートで「学校は、進路について計画的に指導している」が80%以上、「進路行事によって、将来の仕事への意識が高まった」が80%以上。	B	B	生徒一人ひとりに対応した指導ができていると思います。
		生徒アンケートで「本校入学後、学力が向上した。」”当てはまる”が60%以上	A	A	生徒アンケートで7月時より、12月時のポイントが高くなっており、先生方の思いが伝わっていると思います。
		生徒アンケート「授業の内容がよくわかる」の“当てはまる”が80%以上。	A	A	生徒アンケートで7月時より、12月時のポイントが高くなっており、先生方の思いが伝わっていると思います。
		生徒アンケートで「朝読書・朝学習の時間を有効に使っている」が80%	B	B	クラスごとに、有意義な過ごし方ができていると思います。

様式第5号

		以上			
ウ	学校行事や体験学習の充実と精選を図り、自己肯定感、自己有用感を育む。	生徒アンケート「学校行事に満足している」が80%以上	A	A	教員と生徒の年齢差も少なく、生徒の良さを引き出していると思います。
		「土肥分校入学後、様々な活動をすることによって、少しずつ自分に自信が持てるようになった」が70%以上	A	A	生徒アンケートで7月時より、12月時のポイントが高くなっており、先生方の思いが伝わっていると思います。
		生徒アンケート「学校生活が楽しい」の“当てはまる”が80%以上	A	A	生徒アンケートで7月時より、12月時のポイントが高くなっており、先生方の思いが伝わっていると思います。
エ	家庭との連携強化を図る。	保護者アンケートにおいて「学校は保護者や地域との連携を深め、保護者や地域の理解を得ている。」が80%以上。	B	B	一定以上の理解が得られていると思います。
		保護者アンケートで「学校はホームページや土肥高通信、学年だより、学級通信等で、生徒の様子をよく伝えている」70%以上。	A	A	下宿生が多いが保護者もホームページを見ることにより、日常生活が分かる。良い取り組みだと思います。
オ	地域、本校、異校種との連携、協働を推進する。	地域住民アンケートで「土肥高通信を読んだことがある」が80%以上。	A	A	地域に根差していて良いと思います。
		生徒アンケートで「地域の活動に参加した」または「本年度、ボランティア活動に参加した」が50%以上。	A	A	12月の山海フェアに参加した際、生徒たちの活動を見ることができました。
		生徒アンケートで「災害が起きた時の準備や心構えができています。」が80%以上。	B	B	自衛隊による防災講座を開催するなどやり方を工夫していて良いと思います。継続すると良いと思います。
		生徒アンケートで「本校との交流について、積極的に参加して成長することができた。」が60%以上。	A	A	引き続き本校との交流を行うことで、良い方向へ進めばと思います。
カ	校務、学校行事等の見直し、精選を行い、勤務の環境を整える。	勤務超過時間年間 360 時間以内	A	A	適正な運営ができています。
		法定安全点検の実施し、学校施設における事故発生数を0件。	B	B	適正な運営ができています。
		職員安全衛生委員会の月1回程度開催、職場の健康づくり講座の開催、教育DXの推進。	B	B	適正な運営ができています。